

PC Warp

マニュアル



Tally **Secure Wallet**

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社

著作権情報

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は、このドキュメントの内容について明示または黙示のいかなる保証または表明も行わないものとし、商品性または特定目的適合性に関する黙示の保証について、あるいは間接損害、特別損害、結果損害について責任を負わないものとし、ます。

本書に記載している商標およびロゴはすべて各社の登録商標です。ターリー・セキュア・ウォレット株式会社の書面による事前許可なしにこのドキュメントの一部または全部を写真複製、録音などの方法／形態で、複製、検索システムへ保存、他へ転送することを禁じます。ここに記載の情報の利用については、特許に関連する法的責務は想定していません。ターリー・セキュア・ウォレット株式会社は細心の注意を払いこのドキュメントを準備していますが、情報の誤りや欠落について責任を負わないものとし、ます。このドキュメントに記載されている内容と機能は予告なしに変更されることがあります。

内容

1	本書について	4
2	本製品の免責事項	4
3	PC Warp のご使用前に	4
	ご準備	4
	コンピュータの推奨要件	5
	コンピュータの BIOS 設定	5
	コンピュータのシャットダウン設定	6
4	PC Warp のご使用	7
	使用する PC Password の選択	7
	画面構成	8
	コピー	12
	コピーされたファイルの閲覧	13
5	動作ログ	15
6	注意事項について	16
7	その他	16
	お問い合わせ窓口	16

1 本書について

この度は、PC Warp (PC Rescue119 for File プログラム) をご購入頂きまして誠にありがとうございました。本書は、PC Warp の使用に関するマニュアルです。製品に関してご不明な点などがありましたら、弊社のサポートまでご連絡下さい。

2 本製品の免責事項

弊社では、PC Warp を使用した事によって生じる下記の事象に関しては保証しませんので、予めご了承下さい。

- コンピュータまたは PC Warp 内のシステム、ファイルの破損や変更、消失
- ネットワーク、ハードウェアの不具合等
- コピーされたファイルの完全性
- 弊社以外によって改変された PC Warp の動作
- 弊社が認めない製品やサービスと連携した PC Warp の動作
- 弊社が認める上記以外の事象

3 PC Warpのご使用前に

ご準備

PC Warp をご使用になる前にお手元に下記をご準備下さい。

- PC Warp
- マニュアル (本書)
- データ格納用外部記憶媒体 (PC Warp とは異なる媒体にファイルを格納したい場合にお客様がご用意下さい。)

コンピュータの推奨要件

PC Password を使うコンピュータは、次の要件を満たしていることが推奨されます。

- サポートされる OS: Windows XP 以降
- CPU: 1GHz 以上
- メモリ: 1GB 以上 (32bit)、2GB 以上 (64bit)
- ハードウェア: USB2.0 (3.0 以降を含む) ポートを一個以上搭載していること。
- BIOS: USB ブートが選択可能なこと。
 - 概ね Windows 7 リリース以降 (2010 年～) に販売されたマザーボードを搭載しているメーカーPC (自作機は対象外) は、USB ブートに対応していることが多いです。
 - USB ブートがサポートされていないマザーボードをお使いの場合、お客様にて BIOS のアップデートか、最近のマザーボードへの換装をご検討下さい。

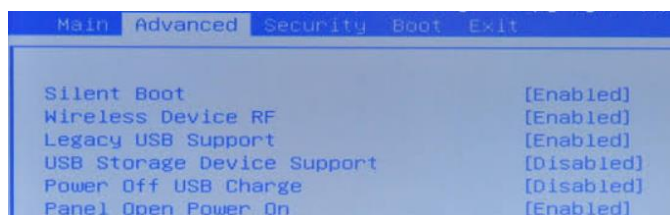
コンピュータの BIOS 設定

PC Warp が起動できるよう、初回にコンピュータの BIOS 設定を変更します。基本的な流れは下記の通りです。

- ① コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- ② コンピュータの電源を入れ、BIOS 画面に入ります。BIOS の起動方法はコンピュータの機種により異なります。詳細は、下記をご覧ください。
<https://tallysecurewallet.jp/products/pcwarp/usbboot/>
- ③ BIOS 画面にて、OS の起動順位を変更して USB 起動を最優先にします。設定が完了しましたら BIOS 設定を保存し、終了します。詳しい設定方法は、各コンピュータメーカーにご確認下さい。設定例は、下記をご覧ください。

1. NEC 製ノートパソコンの場合

- ① BIOS 設定の[Advanced]項目に[Legacy USB Support]項目がありますので、この値を[Enabled]に変更します。



- ② [Boot]項目で、[Legacy Boot priority order]の起動順位リストに[USB Memory]を入れます。[USB Memory]は[Excluded from boot order]の配

下にありますので、これをまず起動順位リストに入れます。更に、[USB Memory]をリスト内の最上位に移動させます。

- ③ [Exit]項目から、設定を保存し、BIOS 画面を終了します。

2. SONY 製ノートパソコンの場合

- ① BIOS 設定の[Boot]項目に[External Device Boot]を[Enabled]に変更します。
- ② [Boot Priority]で、[Select 1st Boot Priority]に[External Device]を選択します。
- ③ [Exit]項目から、設定を保存し、BIOS 画面を終了します。

3. Award BIOS を搭載しているパソコンの場合

- ① BIOS 設定の[Advanced BIOS Features]で、[1st Boot Device]を[USB-HDD]に変更します。
- ② BIOS 設定の[Integrated Peripherals]で、[USB Controller][USB 2.0 Controller][Legacy USB strage detect]をすべて[Enabled]に変更します。
- ③ [Save & Exit Setup]項目から、設定を保存し、BIOS 画面を終了します。

- ④ コンピュータの電源を切ります。

コンピュータのシャットダウン設定

必ずコンピュータが完全にシャットダウンされていることを確認してから、PC Password をコンピュータに接続し、コンピュータの電源を入れて下さい。コンピュータを完全にシャットダウンするには、Windows のログイン画面にて、[Shift]キーを押しながら、電源アイコンをクリックし、[シャットダウン]を選択します。画面に「シャットダウンしています」と表示されましたら、[Shift]キーから手を離します。コンピュータが完全にシャットダウンされていない状態を PC Password が検知すると、メッセージが表示されます。

4 PC Warpのご使用

使用する PC Password の選択

- ① コンピュータがシャットダウンしていることを確認します。
- ② PC Password をコンピュータの USB ポート (USB2.0 以上) に接続し、コンピュータの電源を入れます (USB ハブ経由では動作しません)。

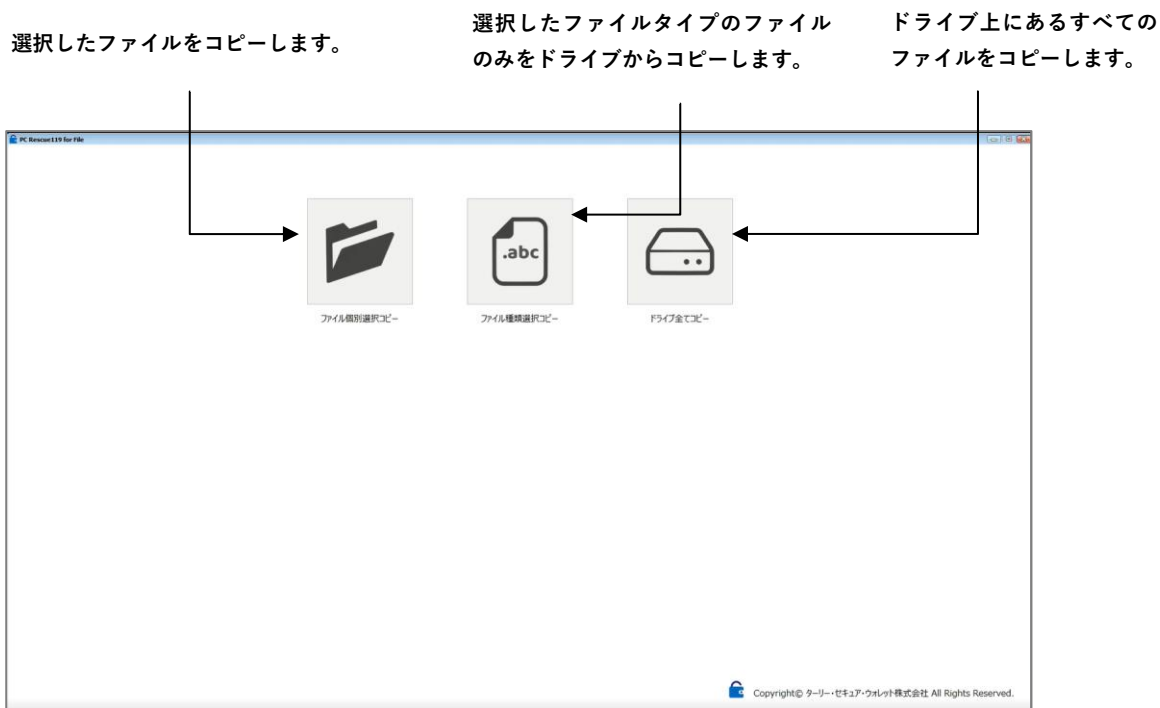
Windows 8 以降のコンピュータでは 64bit を選択し、Windows 8 より前のコンピュータは、32bit を選択してみてください。もし、選択した PC Password が間違っていた場合、エラーが表示されますので、その際は、異なる方を選んで再度実行して下さい。カウントダウンが終わると、選択されているアプリケーションが自動的に起動します。

もし、コンピュータの OS が起動してしまう場合は、BIOS の USB ブートが最優先になっていないため、第 3 章の手順を再度行って下さい。

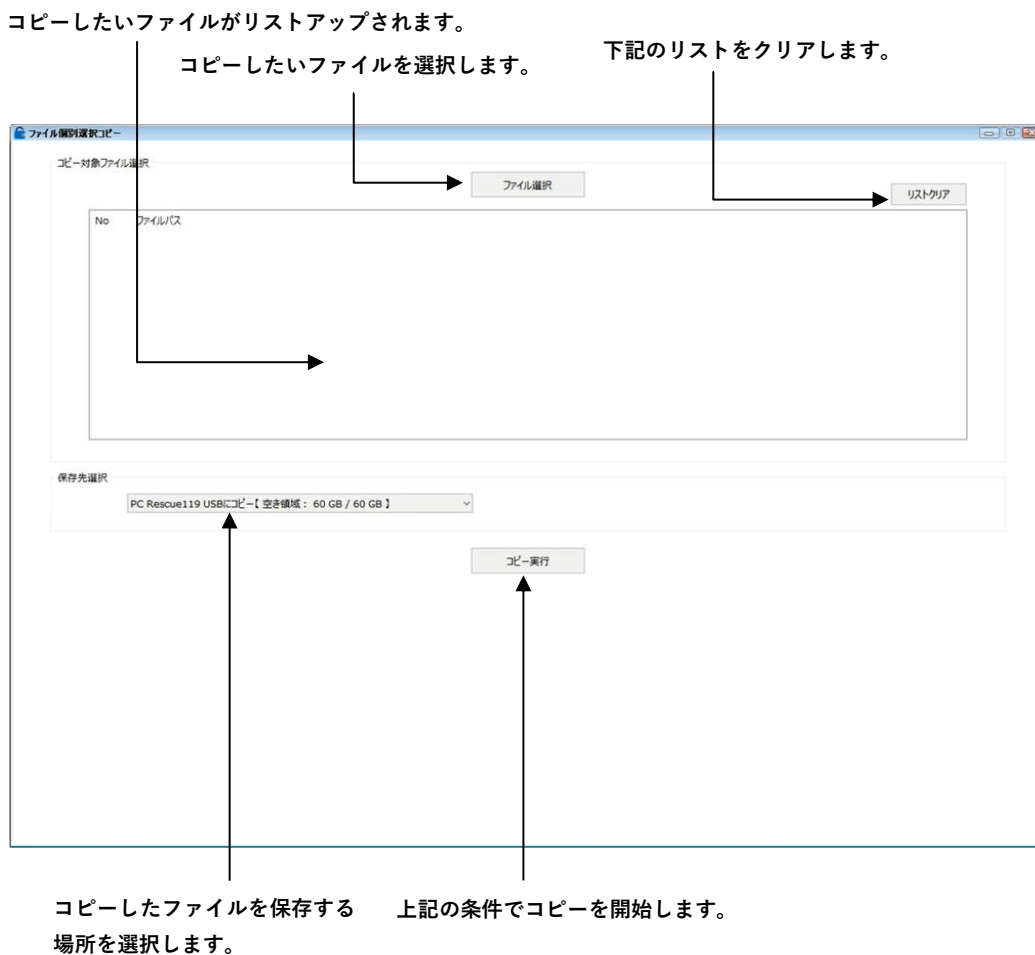
- ③ 選択した PC Password が読み込まれます。プログラムが起動するまで暫くお待ち下さい。

画面構成

メインメニューの画面構成



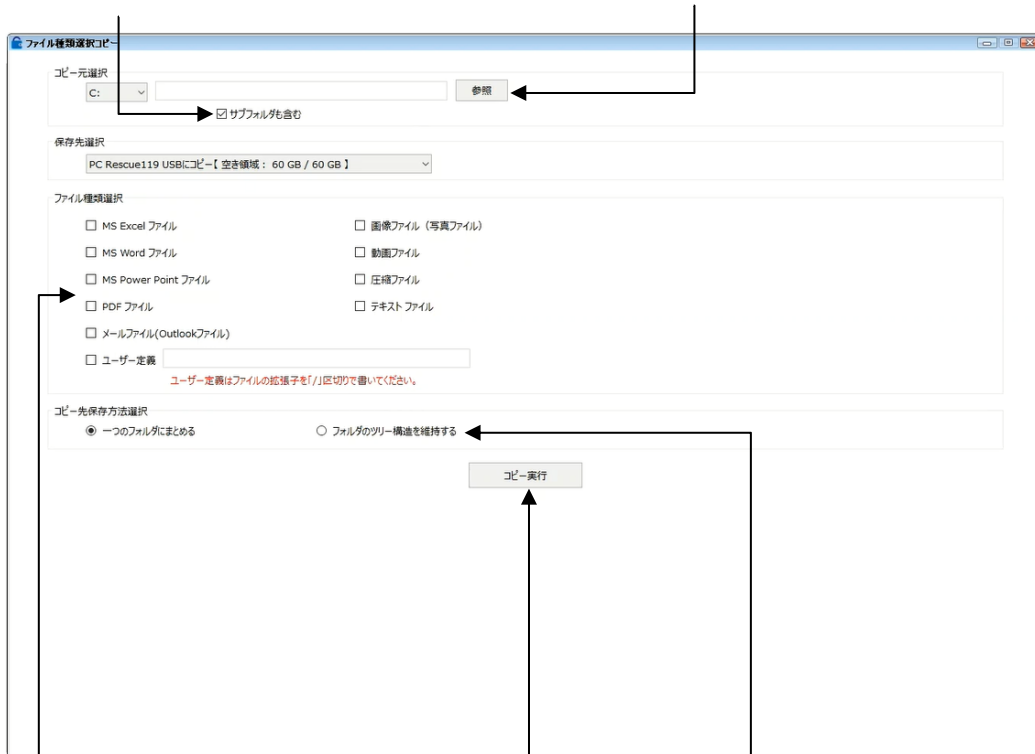
[ファイル個別選択コピー]モードの画面構成



[ファイル種類選択コピー]モードの画面構成

指定したフォルダとその配下のすべてのサブフォルダも対象とする場合は、チェックを入れます。

コピー元のフォルダを選択します。ドライブを指定する場合も[参照]ボタンでドライブ(例 C:)をお選び下さい。



コピーしたいファイルタイプを選択します。[ユーザー定義]に任意の拡張子を入力することで、そのファイルタイプのファイルをコピーできます。

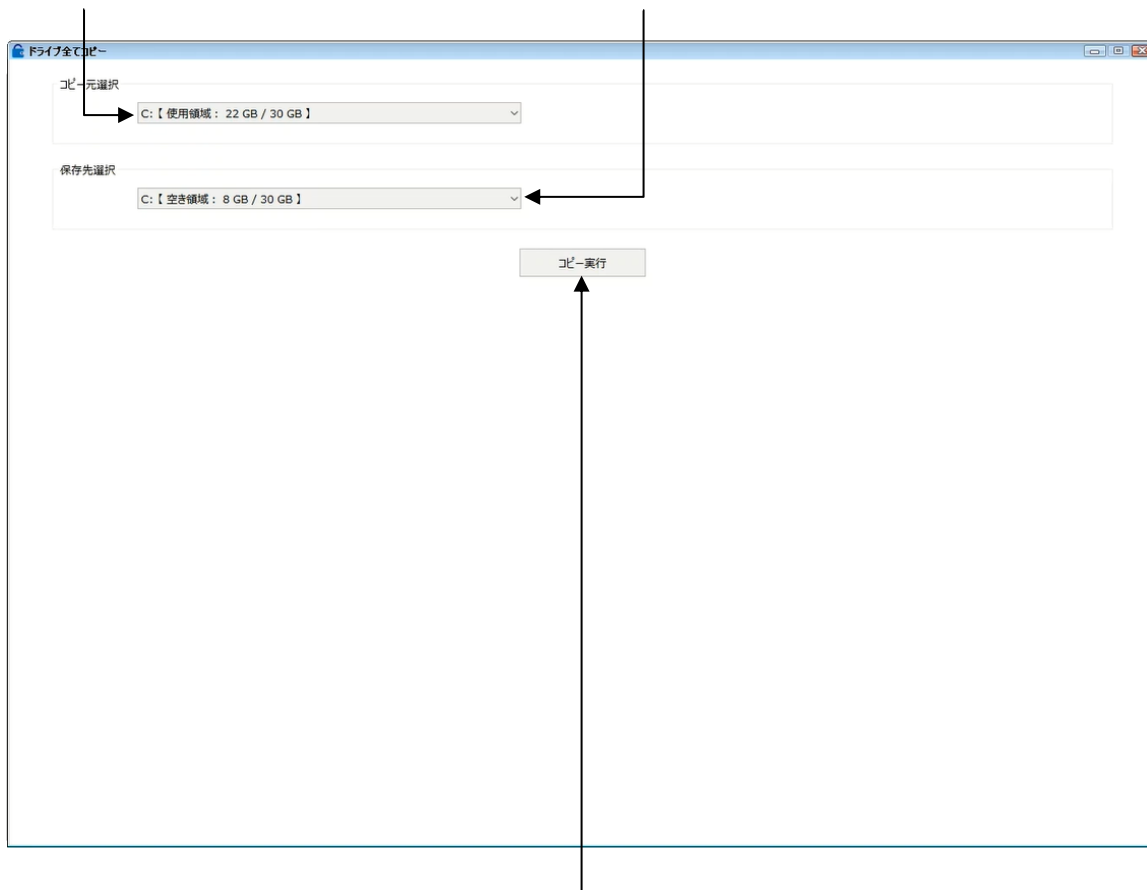
コピーしたファイルを一つのフォルダにすべて格納するか、元のフォルダツリー構造を維持したままコピーするかを選択します。

上記の条件でコピーを開始します。

[ドライブ全てコピー]モードの画面構成

コピー元のドライブを選択します。ドライブ上にあるすべてのファイルが対象となります。

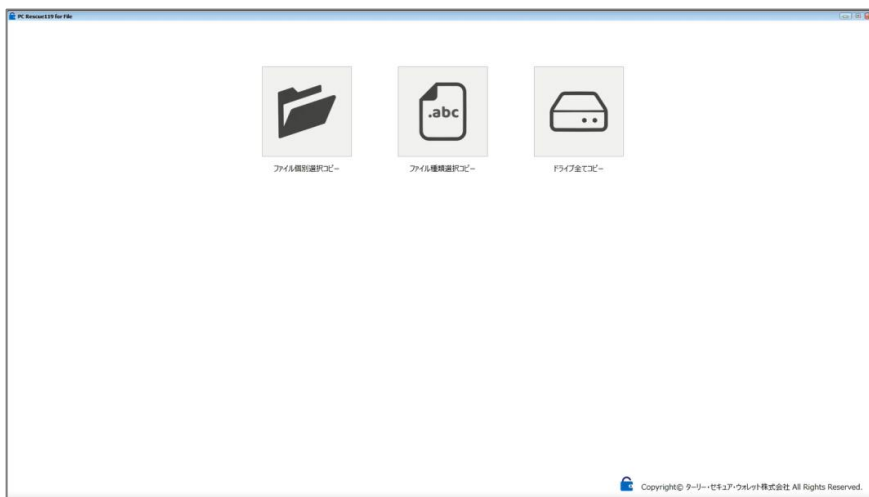
コピー先のドライブを選択します。



上記の条件でコピーを開始します。

コピー

- ① PC Rescue119 for File プログラムのメニュー画面が表示されます。3つのコピーモードからお好きなモードを選択します。



各モードの違いは下記の通りです。

モード	説明
ファイル個別選択コピー	個別にファイルを選択し、それをコピーします。
ファイル種類選択コピー	指定した拡張子のファイルのみをコピーします。
ドライブ全てコピー	ドライブ上にあるすべてのファイルをコピーします。

- ② 各モードにより、操作が異なります。

[ファイル個別選択コピー]モード

- ① [ファイル選択]ボタンをクリックし、コンピュータ上にある、コピーしたいファイルを選択します。複数のファイルを一括選択することもできます。
- ② コピー対象のファイルの一覧が表示されますので、問題がなければ、[保存先選択]プルダウンメニューで、ファイルのコピー先を選択します。PC Warp 内に保存するには、[PC Rescue119 USB]を選択します。
- ③ [コピー実行]ボタンをクリックします。コピーが完了するまでお待ち下さい。コピーを途中で中止する場合は、[コピー中止]チェックボックスにチェックを入れ、コピーを中止して下さい。コピーが完了したファイルは、コピーがされたままになり、削除されません。
- ④ コピーが完了すると、メッセージと所要時間がポップアップで表示されます。

[ファイル種類選択コピー]モード

- ① [コピー元選択]で、コピーしたいファイルがあるドライブを選択します。[参照]ボタンをクリックし、コピーしたいファイルがあるフォルダ(またはドライブ)を選択します。Cドライブを指定する場合は、[参照]ボタンからCドライブを

必ず選択して下さい。

- ② [保存先選択]プルダウンメニューで、ファイルのコピー先を選択します。PC Warp 内に保存するには、[PC Rescue119 USB]を選択します。
- ③ [ファイル種類選択]で、コピーしたいファイルのタイプを選択します。一覧にない場合は、[ユーザー定義]フィールドに任意の拡張子を入力して下さい。「.」は入力不要です。複数ある場合は、「/」で区切って下さい。
- ④ [コピー先保存方法選択]で、ファイルを保存先にコピーする際、コピーしたファイルを一つのフォルダにすべて格納する場合は、[一つのフォルダにまとめる]を選択します。コピー元のフォルダツリー構造をそのままコピー先に複製する場合は、[フォルダのツリー構造を維持する]を選択します。
- ⑤ [コピー実行]ボタンをクリックします。コピーが完了するまでお待ち下さい。コピーを途中で中止する場合は、[コピー中止]チェックボックスにチェックを入れ、コピーを中止して下さい。コピーが完了したファイルは、コピーがされたままになり、削除されません。
- ⑥ コピーが完了すると、メッセージと所要時間がポップアップで表示されます。

[ドライブ全てコピー]モード

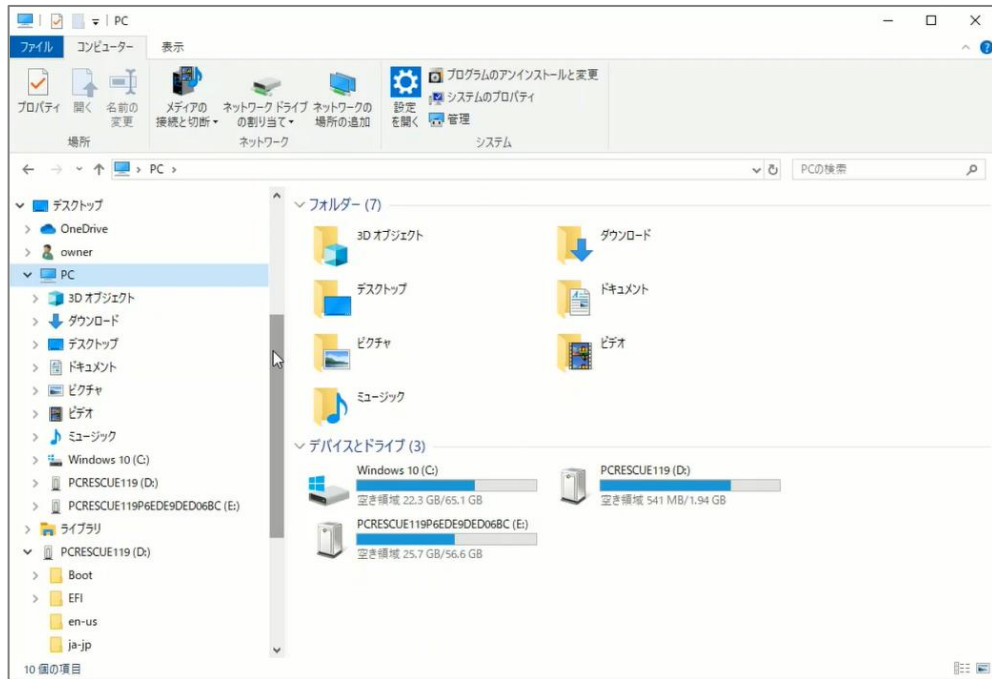
- ① [コピー元選択]プルダウンメニューで、コピーしたいファイルがあるドライブを選択します。
 - ② [保存先選択]プルダウンメニューで、ファイルのコピー先を選択します。PC Warp 内に保存するには、[PC Rescue119 USB]を選択します。
 - ③ [コピー実行]ボタンをクリックします。コピーが完了するまでお待ち下さい。[ドライブ全てコピー]モードのみ、進捗バーと完了度 (%) が表示されます。バーは 1 分毎に更新されます。コピーを途中で中止する場合は、[コピー中止]チェックボックスにチェックを入れ、コピーを中止して下さい。コピーが完了したファイルは、コピーがされたままになり、削除されません。
 - ④ コピーが完了すると、メッセージと所要時間がポップアップで表示されます。
- ③ 作業が完了しましたら、ウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックし、プログラムを終了します。

コピーされたファイルの閲覧

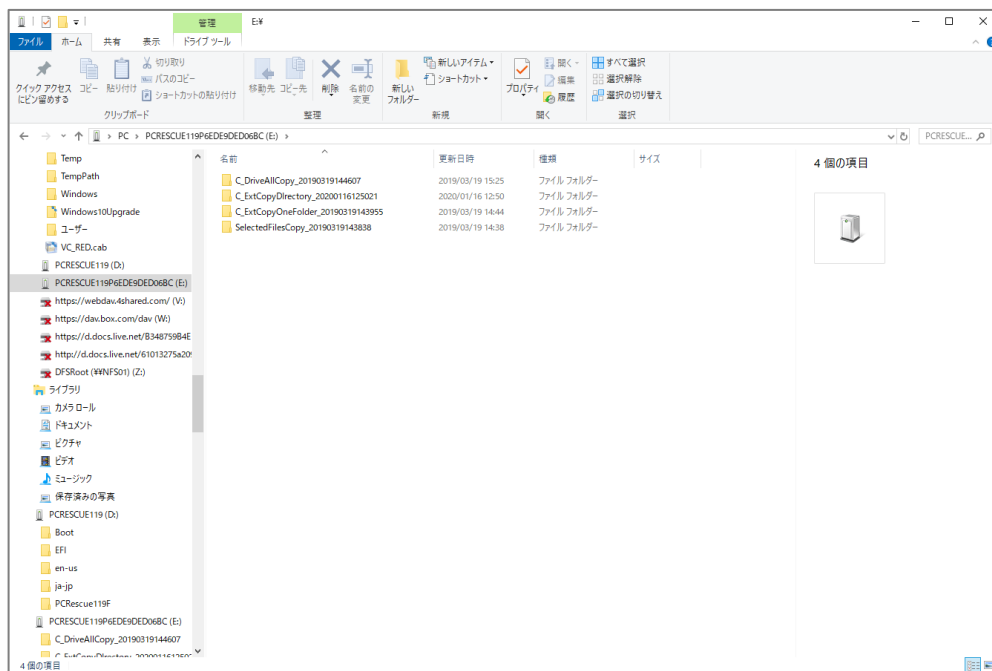
- ① コンピュータから PC Warp を外します。
- ① 別のコンピュータを起動し、Windows のデスクトップ画面が表示されたら PC Warp を接続します。コピー先ドライブが PC Warp 以外の場合は、ファイルが格納されたドライブを接続します。

- ② PC Warp を接続すると、D ドライブと E ドライブが表示されます（PC によってドライブレターは異なる場合があります）。コピーされたファイルを閲覧するには、それらのファイルが格納されている E ドライブ（二番目のドライブ）にアクセスします。D ドライブ（一番目のドライブ）は、PCWarp 専用アプリケーションの動作に必要なファイルがありますので、変更や削除しないで下さい。

PC Warp 以外のドライブにファイルを格納した場合は、そのドライブを接続します。



- ③ コピーされたファイルは、フォルダ毎にまとめられます。



フォルダ名は、コピー元のドライブ名、使用したモード、コピー日時で構成され、固有の名前が付けられます。フォルダ名にはコピー日時が入りますので、コピーを複数回繰り返して行っても以前コピーされたファイルが上書きされる事はありません。直前にコピーしたファイルを開覧するには、更新日でファイルをソートすれば容易に見つけることができます。

モード	フォルダに付けられる文字列
ファイル個別選択コピー	SelectedFilesCopy
ファイル種類選択コピー ([一つのフォルダにまとめる]選択時)	ExtCopyOneFolder
ファイル種類選択コピー ([フォルダのツリー構造を維持する]選択時)	ExtCopyDirectory
ドライブ全てコピー	DriveAllCopy

- ④ ファイルは、ローカルや他の記憶媒体にコピーや移動し、自由に閲覧ができます。[一つのフォルダにまとめる]を選択すると、コピーされたファイルはすべて、PC Warp の単一フォルダの配下に格納されます。同名ファイルは、ファイル名の末尾にそのファイルの更新日時情報 (YMDHMS 形式) が付加されます。
- ⑤ 作業が完了しましたら、コンピュータの電源を切り、PC Warp を外します。

5 動作ログ

コピーしたファイルの保存先フォルダに、ログファイル (PcRescue119F.log) が生成されます。このログファイルでは、ファイルのコピー状況 (正しくコピーされたファイル、エラーが発生しコピーされなかったファイル) を確認できます。フォルダが使用中の場合は、そのフォルダにあるファイルのコピーがスキップされます。「ドライブ全てコピー」モードでは、エラーログのみ記録されます。

ログの例 (メモ帳で開いた場合)

※便宜上、行を折り返して表示していますが、各ログは一行で表されます。

```

PcRescue119Flog - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
2020/01/16 12:50:21 ファイルコピー C:\Program Files\Intel\iCLS Client\License.txt -> E:\
¥C_ExtCopyDirectory_20200116125021¥Program Files\Intel\iCLS Client\License.txt
2020/01/16 12:50:21 ファイルコピー C:\Program Files\Intel\iCLS Client\Readme.txt -> E:\
¥C_ExtCopyDirectory_20200116125021¥Program Files\Intel\iCLS Client\Readme.txt
2020/01/16 12:50:21 ファイルコピー C:\Program Files\Intel\iCLS Client\Third Party Licenses.txt -> E:\
¥C_ExtCopyDirectory_20200116125021¥Program Files\Intel\iCLS Client\Third Party Licenses.txt
  
```

6 注意事項について

- 本製品の複製を作成しないで下さい。本製品のご使用の許諾は、購入された数に限ります。
- 違法性のある使い方をしないで下さい。
- PC Warp の分解、改造、修理を行わないで下さい。故障の原因になります。
- 水を使う場所や湿気の多い所、高温な場所で本製品を使用しないで下さい。
- 本製品に強い衝撃を与えないで下さい。
- お手入れの際は乾いたやわらかい布で軽く拭いて下さい。ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないで下さい。
- Mac コンピュータ及び Windows RT (ARM プロセッサ) コンピュータでのご使用はサポート外です。
- 起動中のコンピュータに PC Warp を接続すると、外部記憶媒体として認識され、中のファイルにアクセスできます。専用アプリケーションの動作に必要なファイルを変更や削除すると、正しく動作しない場合がありますのでご注意下さい。
- すべてのコンピュータでの動作を保証するものではありません。
- サードパーティーのシステムまたはソフトウェアにより、PC Warp が正しく動作しない場合、弊社では責任を負いませんので予めご了承下さい。
- 本製品の仕様により使用時間が 72 時間を超えると強制的に再起動しますので、必ず 72 時間を超えて使用しないで下さい。

7 その他

お問い合わせ窓口

ターリー・セキュア・ウォレット株式会社 サポート窓口
メールアドレス： support@tallysecurewallet.jp
業務時間：平日 9:00～17:00 (土日祝日は除きます。)